

科目名	GCB II						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15時間	担当者	中村直輝		
実施年度	2021	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場にてプランナー勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科2年						
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。						
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。	
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシックⅡ 志の教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンと“志”			振り返りレポートの作成		
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～			振り返りレポートの作成		
	3	自己を知る			振り返りレポートの作成		
	4	伝える力を学ぶⅠ～プレゼンテーション～			振り返りレポートの作成		
	5	伝える力を学ぶⅡ～グループコミュニケーション～			振り返りレポートの作成		
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～			振り返りレポートの作成		
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～			振り返りレポートの作成		
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)			振り返りレポートの作成		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				○		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位は与えない。						

科目名	パーソナルカラーA						
科目名(英)	Personal Color						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	吉田 浩子
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	日本カラリスト協会
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・2年						
授業概要	衣食住の様々なシーンでの色の重要性を知り、ビジネスの場でパーソナルカラーを活かしながら、モノだけではなくコミュニケーションツールとして活用する。色の知識を深め、センスを磨き応用力を身につけパーソナルカラリスト検定習得を目指す。						
授業形式	講義	○	演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					パーソナルカラリストの特徴を理解し、人に合う色やファッション、ヘア・メイクを提案出来る。	
		○				色に見える仕組みや歴史を理解し、色を分類する力を養う。	
		○				配色効果を学び、色の選択が出来る。	
		○				ブライダルと色の関連性を学び、トータルの色の応用力を身につける。	
				○		人の特徴に合わせた色のプレゼンテーションが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定公式テキスト・カラーカード・パーソナルカラリスト問題集3・2級 COLOR Arrangement						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	色彩と文化1～日本の色の歴史や生活の中での色を知る					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと
	2	色彩と文化1～色の種類やその特徴					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	3	色彩と文化2～色の種類やその特徴					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	4	色彩理論～色のしくみ					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	5	色彩理論～CUS表式系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	6	色彩理論～色の三属性と対比現象					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	7	色彩理論～色の三属性と感情効果					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	8	色彩理論～CUS配色効果 アンダートーン配色					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	9	色彩理論～CUS表式系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	10	色彩理論～CUS表式系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	11	色彩理論～CUS表式系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	12	色彩とファッション～ファッション概論					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	13	色彩とファッション～ブライダルと色彩					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	14	色彩とファッション					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
	15	パーソナルカラーの特徴1～ブルーアンダートーン					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題
評価方法	(1)プリント、課題を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				60%
	宿題・レポート		○		○		20%
	発表		○		○		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダル接遇演習Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2		時間数	30コマ	担当者	島崎 満美子	
実施年度	2021年度		実施時期	前期	担当者実務経験	ウェディングプランナー歴19年 ドレスコーディネーター歴3年	
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科2年						
授業概要	ブライダルのより実践的な接遇(お客様案内や打合せ)及び業務に必要な知識、話術、顧客対応を学び、お客様の対応がスムーズにできるようになる。また国家資格(ブライダルコーディネート技能検定)の視聴覚問題にも対応できるようにする。						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△	○				新規セールスの接客の流れを把握し、お客様の案内ができるようになる	
	△	○				お客様のご希望を的確に捉えお客様に合った提案ができるようになる	
	△	○				結婚式の日程をお客様のご希望に合わせ提案ができるようになる	
	△					挙式・披露宴での慣例に基づき正しい提案ができるようになる	
		○				シチュエーション毎に正しい接遇ができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	実践ビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブライダルの接客について(新規・打合せ・衣裳)国家資格の視聴覚問題について					
	2	新規セールスについて①(導入・ヒアリング・日程の決め方)					
	3	新規セールスについて②(導入・ヒアリング・日取りの決め方)					
	4	新規セールスについて③会場案内(挙式場・バンケット)					
	5	新規セールスについて 実践					
	6	新規セールスについて(クロージング)見積もり作成					
	7	プランナー業務①(ペーパーアイテムについて)					
	8	プランナー業務②(演出物・ビデオ・引出物・引菓子・ヘアメイク・写真)					
	9	プランナー業務③(式場スタッフの役割と当日の動き)					
	10	ドレススタイリスト①(衣裳提案)洋装					
	11	ドレススタイリスト②(衣裳提案)和装(列席者衣裳含む)					
	12	当日業務①					
	13	当日業務②					
	14	実技試験・まとめ①					
	15	実技試験・まとめ②					
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎	○		50%
	復習実技テスト		○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	和装着付け演習						
科目名(英)							
単位数	2		時間数	30		担当者	藤原 美樹先生
実施年度	2021		実施時期	前期		担当者実務経験	美容師、ブライダルヘアメイク、着付け
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年						
授業概要	日本の伝統文化「和装」に興味を持ち、振袖の着付け方法を学び、相手に着付けが出来るようになる。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					着付けに必要な物品を準備することができる	
	△		○			着物の名称を知り、チームで協力して着付けができる	
				○		モデルへ身体的苦痛を与えていないか、他者への配慮ができる	
				○		限られた時間の中で チームで協力して振袖の着付けができる	
		○				浴衣の着付け、帯結びが 自分でできる	
テキスト・教材 参考図書	振袖の名称(百日草) hyakunichiso.com						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	振り袖着付けの基礎(名称)．足袋の履き方～補正				足袋の履き方、補正タオルの折り方を復習しておく	
	2	名称筆記試験/肌着～補正～長襦袢の着付け				名称を復習しておく	
	3	長襦袢～着物まで着付ける				着物の着丈、腰紐の結ぶ位置の復習しておく	
	4	チームで長襦袢まで完全に着付けが出来るようになる				着付けの手順を チームで協力して覚えていく	
	5	着物～帯まで 着付ける				帯の折り方 を復習しておく	
	6	チームで着物まで完全に着付けが出来るようになる				チームで協力して復習しておく	
	7	帯結び(お太鼓結び)の練習				お太鼓結びの復習をしておく	
	8	着付けお太鼓結びまで実技試験①				3人がお太鼓結びが出来るように復習しておく	
	9	帯結び(文庫結び)の練習				文庫結びの復習をしておく	
	10	チームで文庫結びが完全に出来るようになる				3人が文庫結びが出来るように復習しておく	
	11	実技試験の向けて 各チーム練習				タイムオーバーの原因を見つけ出しておく	
	12	実技試験に向けて 各チーム練習				アドバイスの箇所を復習しておく	
	13	文庫結び実技試験 ②				アドバイスの箇所を復習しておく	
	14	実技試験 ③				アドバイスの箇所を復習しておく	
	15	浴衣の着付け 綺麗な襟足とは				浴衣を自分で着付けの復習しておく	
評価方法	(1)授業内実技試験を3回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(実技)			◎			80%
	定期試験(筆記)	○					20%
履修上の注意	公欠の学生には、各チームで協力をして前回の着付け方を伝えろ。全員で振袖の着付けが出来るようになる						

科目名	イベントプランニング						
科目名(英)	Event planning						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	中村
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	ブライダル業界において必要となってくる募集・企画・運営・経理についてを学び、実践する。ブライダル実習室を使用したファッションショーという括りの中で、テーマの設定から当日の運営までをクラスメイトと協力して行う。ブライダル・ウエディング科の集大成である模擬結婚式に向けての前段階としての位置付けとする。						
授業形式	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		ファッションショー本番までの流れを理解し、主体性を持って準備に取り掛かることができる。	
		○				オリジナリティに溢れたファッションショーのテーマを設定できる。	
		○				これまでの授業内容を取り入れたファッションショーの企画を設定できる。	
		○				計画的な備品購入を行い、正確な経費精算の報告を行うことができる。	
				○		ファッションショー本番にてクラスメイトと協力し、運営に携わることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、グループ分け、スケジュール、テーマ決め				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	2	進行内容決め				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	3	担当役割決め、本番に向けての準備				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	4	本番に向けての準備 ※ここからはグループに分かれての授業				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	5	本番に向けての準備				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	6	本番に向けての準備、リハーサル				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	7	最終リハーサル				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	8	オープンキャンパス当日にてファッションショーの運営				準備・身だしなみを整えた上で運営すること	
	9						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)出席状況や授業中の態度・意欲を成績評価とする。(2)当日の募集人数も成績評価に含まれる。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況・授業態度		○		◎		90%
	オープンキャンパス参加人数					◎	10%
履修上の注意	授業外でもグループ内で打ち合わせや備品購入を行い、当日の運営に向けて準備を進めること。						

科目名	ブライダルコーディネート演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2021	実施時期	前期	担当者実務経験	東:専門式場フラワーコーディネーターとして勤務 中村:専門式場プランナーとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科・2年						
授業概要	2年後期に開催される模擬結婚式に向けて、披露宴及び挙式における演出・企画力を身に付ける。模擬結婚式の全体テーマやコンセプトを過去の模擬結婚식을振り返りながら企画していく。レストランウェディングの見学及びコース料理試食をして知識・見識を広げる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△	○				模擬結婚式の流れ・準備物・役割を知る。	
	△	○				ブライダルにおける演出を知り説明する事ができる。	
	△	○				レストランにおける結婚式の施設・設備を学び特徴を説明できる。	
	△	○				和の婚礼演出を知り説明する事ができる。	
						0	
テキスト・教材 参考図書	模擬婚DVD(2018～2008)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	模擬結婚式の概要説明					
	2	過去の模擬婚の演出を知る①					
	3	過去の模擬婚の役割を知る②					
	4	模擬結婚式の全体テーマ検討					
	5	和の婚礼演出について					
	6	和の婚礼演出について現場確認					
	7	和の婚礼演出についてレポート作成					
	8	結婚式場での音楽・映像・演出について①					
	9	結婚式場での音楽・映像・演出について②					
	10	洋食のテーブルマナーについて					
	11	レストランウェディングセミナー①					
	12	レストランウェディングセミナー②					
	13	模擬結婚式場見学①					
	14	模擬結婚式場見学②					
	15	全体での模擬結婚式内容考察					
評価方法	(1)各項目ごとのレポート提出は期限を守る 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない						

科目名	サービス接遇Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2		時間数	30時間	担当者	東 まゆみ	
実施年度	2021		実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーター勤務	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年						
授業概要	サービス接遇検定2級、準1級を学んだ上で、より社会人として職場でのビジネスマナーが実践として役に立つように、学ぶ						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					サービス接遇検定1級合格	
	○					ビジネス文書の書き方がわかる	
	○					接客用語を正しく覚え、つかうことができる	
テキスト・教材 参考図書	・早稲田出版 サービス接遇検定1級公式テキスト、サービス接遇検定実問題集1級 ・ウィネット 実践ビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	サービス接遇検定1級テキスト（1年次復習）				2級、準1級の復習をしておくこと	
	2	サービス接遇検定1級テキスト（接客態度について）					
	3	サービス接遇検定1級テキスト（接客用語について）					
	4	サービス接遇検定1級テキスト 商業用語					
	5	サービス接遇検定1級テキスト 社旗常識、長寿の祝い					
	6	サービス接遇検定1級テキスト（案内文書について）					
	7	商業用語復習					
	8	経済用語復習					
	9	中間確認テスト					
	10	サービス接遇検定1級過去問題 第47回、第46回					
	11	サービス接遇検定1級過去問題 第45回、第44回					
	12	サービス接遇検定1級過去問題 第43回、第42回					
	13	サービス接遇検定1級過去問題 第41回、第40回					
	14	サービス接遇検定1級過去問題 第39回、第38回					
	15	検定前確認テスト					
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)課題の過去問題提出 (3)サービス接遇1級合格						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト2回	○					50%
	過去問題実施提出				○		30%
	検定合格	○					20%
履修上の注意							

科目名	SPI II						
科目名(英)	Synthetic Personality Inventory II						
単位数	1単位		時間数	15時間	担当者		
実施年度	2021年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	ブライダル科2年						
授業概要	採用試験で多くの企業が導入しているSPIの対策授業。非言語分野問題(数学)をメインに、SPI I で学習したことを基礎として、SPI II では更に応用力を身に付け確実に問題に解答できる力を養う。						
授業形式	講義: ○		演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各項目の解法を理解し、式をたてることができる	
	○					制限時間内に解答することができる	
	○					模擬試験問題を7割以上の正答率で解答することができる	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明、SPI I 復習					
	2	模擬試験問題:仕事算、速度算、確率、N進法、推論				テキストの該当部分の復習(1時間)	
	3	模擬試験問題:N進法、集合、確率				テキストの該当部分の復習(1時間)	
	4	模擬試験問題:確率、推論、集合				テキストの該当部分の復習(1時間)	
	5	模擬試験問題:速度算、順列、組み合わせ				テキストの該当部分の復習(1時間)	
	6	模擬試験問題:推論、順列、組み合わせ、集合				テキストの該当部分の復習(1時間)	
	7	模擬試験問題:推論、仕事算、割合、N進法				テキストの該当部分の復習(1時間)	
	8	前期試験(授業内)					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)定期試験 (2)確認テスト (3)出席状況を意欲点として評価 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	前期試験(筆記)授業内	◎	○		○		60%
	確認テスト(筆記/2回)	◎	○		○		20%
	出席状況				○		20%
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は、前期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	東 まゆみ
実施年度	2021		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	就職活動に向けて、面接やエントリーシートの書き方の対策を行う。社会人としてブライダル業界で活躍できる人財になる為に必要な要素を知る。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技： ○	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					就職内定	
	○					エントリーシートや履歴書が書き上げられるようになる。	
	○	○				面接にて実力が発揮できるようになる。	
	○					グループディスカッションの流れを知り、役割なども含め本番で実力を発揮できるようになる。	
	○	○				グループワークの流れを知り、役割なども含め本番で実力を発揮できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック ブライダルのお仕事（ウエディングジョブ発行）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	2	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	3	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	4	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	5	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	6	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	7	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	8	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	9	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	10	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	11	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	12	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	13	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	14	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	15	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
評価方法	①履歴書提出 ②サブツール提出 ③ミニテスト提出 評価上記提出「R」とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	①～③提出	○	◎	○			100%
履修上の注意							

科目名	Excel						
科目名(英)							
単位数	3		時間数		45		担当者
実施年度	2021		実施時期		前期		担当者実務経験
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科2年						
授業概要	企業で最も使われているソフトの一つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2016」を使ってそれらの機能の基本的な操作方法を習得する。問題集「2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集」を使ってより高度な機能の習得と検定対策の学習をする。また、検定対策の一環として客観的に自分の解答が正しいか判断できるようになるため自己採点を行う。						
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				Excelで作作成ができる。	
		○				Excelでグラフの作成と編集ができる。	
		○				Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。	
	○		△			Excel表計算処理技能認定試験3級に合格する。	
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Excel2016 2016対応 Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	Excelの概要・データの種類と入力方法					テキスト記載の実習問題1～4の表作成を完成させる
	3	簡単な表の作成・練習問題					テキスト記載の実習問題1～4のグラフ作成を完成させる
	6	基本のグラフ作成・練習問題					テキスト記載の実習問題7～10を完成させる
	8	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)					テキスト記載の実習問題11～15を完成させる
	9	10 セルの書式設定・絶対参照を使う計算・関数(とから選べる関数)					テキスト記載の実習問題16～18,37を完成させる
	11	12 いろいろな関数(COUNTA,ROUND類,RANK類,IF)					テキスト記載の実習問題20～26を完成させる
	13	14 スパークライン・グラフ機能					テキスト記載の実習問題34,35を完成させる
	15	16 データベース機能					
	17	18 19 20 検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習					練習問題1を仕上げる。
	21	～24 検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習					
	25	26 検定問題集_模擬問題1_各目で実習し、不明点に個別対応。					
	27	28 試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目					
	29	～40検定問題集_練習問題2_～7演習による解説後、不明点個別対応					
	41	～44 模擬試験2回目後、解説・質疑・別問題					
	45	期末試験実技					
評価方法	(1)授業の中で検定対策として模擬試験を2回実施する。(2)テキスト「30時間でマスターExcel2016」内の実習問題を70%以上仕上げる。(3)授業中に終了しなかった問題集の課題を全て仕上げる。((2)(3)については授業終了時にメモリ提出)(4)問題集の模擬問題1～7について採点表をもとに自己採点しプリントで提出する。(5)検定試験と同程度の実技期末試験を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実技	○	◎	○			50%
	模擬試験	○	◎	○			15%
	上記(2)課題提出		◎	○			10%
	上記(3)検定問題集	○	◎	○			20%
	上記(4)自己採点表提出	○	○		◎		5%
履修上の注意							

科目名	ブライダルネイル						
科目名(英)	Bridal Nails						
単位数	2		時間数	30	担当者	河本 奈々恵	
実施年度	2021		実施時期	前期	担当者実務経験	ネイリスト9年	
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科2年						
授業概要	ブライダルネイルに関する知識や技術						
授業形式	講義: ○		演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ジェルネイルに関する知識を身につける	
	○					ジェルネイル道具の正しい使用方法や役割を覚える	
		○	○			ジェルネイルの基礎的な技術を学び施術できる	
		○	○			ブライダルシーンにおいて適切なデザインの提案、施術ができる	
テキスト・教材 参考図書	JNA公式テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ジェルとは何か、施術における基本概論および注意点など				授業プリント配布	
	2	基本概論の復習(小テスト実施) 実技デモンストレーション				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	3	実技 プレパレーションのチップ練習				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	4	実技 ワンカラーのチップ練習				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	5	実技 グラデーション、フレンチのチップ練習				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	6	実技 基本アートについて学ぶ				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	7	ブライダルネイルとは何かを考える デザインの考案				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	8	各自、自分が考案したブライダルデザインをチップに起こす				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	9	実技 プレパレーション、ワンカラーのペア練習①				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	10	実技 プレパレーション、ワンカラーのペア練習②				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	11	実技 ワンカラー、オフのペア練習①				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	12	実技 ワンカラー、オフのペア練習②				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	13	各自、自分の考案したブライダルデザインを練習する				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	14	作品作り ペア相手にブライダルネイルを施術し作品として撮影①				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	15	作品作り ペア相手にブライダルネイルを施術し作品として撮影②				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
評価方法	(1)授業の中で座学で学んだ内容の小テストを行う (2)各自考案したデザインをチップに起こし作品として評価する (3)実技試験としてリアルハンドに施術を行う (4)課題をあたえ宿題として提出してもらう 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○		○		20%
	作品①チップ		○	○	○		30%
	作品②リアルハンド		○	○	○		30%
	宿題				○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。 実技が中心の為、忘れ物がないよう注意						

科目名	ブライダルメイクヘアアレンジ							
科目名(英)	Bridal hairmake							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	武田真希	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	ヘアメイク、着付け、エステ	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年(ビューティ専攻)							
授業概要	ブライダル業界に必要なメイク、ヘアアレンジに関する知識を学び、技術を身につける。							
授業形式	講義：△		演習：	実習：	実技：○	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
		○				お客様にヘアメイクを施す上での基礎的な知識と技術を身に着ける		
			○			ブライダルヘアメイクに必要な知識と技術を身に着ける		
			○			カーラー、ヘアアイロンの使い方を身につける。		
			○			ヘッドアクセサリーを使ってブライダルのヘアアレンジができるようになる。		
テキスト・教材 参考図書								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	ブライダルにおけるヘアメイクの役割、仕事内容について知る。						
	2	メイク実践(ベースメイク)＊相モデルにて					1年生で使ったプリントを復習しておくこと	
	3	メイク実践(アイブロウ、アイシャドウ)					1年生で使ったプリントを復習しておくこと	
	4	メイク実践(前回の復習、アイライン、ビューラー、マスカラ)					1年生で使ったプリントを復習しておくこと	
	5	メイク実践(前回の復習、チーク、リップ)					1年生で使ったプリントを復習しておくこと	
	6	メイク実践(和装メイク、水化粧の使い方)						
	7	メイク実践(モデルにフルメイクする)					各自練習しておくこと	
	8	ヘア実践(カーラーの使い方、ピンの留め方、他)					各自練習しておくこと	
	9	ヘア実践(夜会巻き、編み込み復習)					各自練習しておくこと	
	10	ヘア実践(ヘアアイロンの使い方)					各自練習しておくこと	
	11	ヘア実践(洋装ヘアアレンジ)					各自練習しておくこと	
	12	ヘア実践(洋装ヘアアレンジ)					各自練習しておくこと	
	13	ヘア実践(和装ヘアアレンジ)					各自練習しておくこと	
	14	ヘア実践(ヘッドアクセサリーを使ってのヘアアレンジ)					各自練習しておくこと	
	15	トータル仕上げ、評価					各自練習しておくこと	
評価方法								
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験			○	◎	○		100%
履修上の注意	実践がメインなので忘れ物が無いように。一年の前期、後期で配ったプリントを持参する事。							

科目名	テーブルコーディネート演習							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30		担当者	東 まゆみ	
実施年度	2021		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・2年							
授業概要	披露宴会場用のテーブルコーディネートを学び、イメージに合わせた装花がアレンジできるようになる。 アフタヌーンティーのテーブルコーディネートができるようになる							
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					テーブルコーディネートの組み立て、企画、構成ができるようになる		
			○			披露宴会場のイメージに合ったテーブルコーディネートができるようになる		
			○			アフタヌーンティーに合わせたテーブルコーディネートができるようになる		
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・ブライダルフラワーコーディネーター検定・生花・アーティフィシャルフラワー・クロス、花器							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	テーブルコーディネートとは(組み立てについて)						
	2	テーブルコーディネートとは(テーブル構成)						
	3	イメージスケールについて(イメージスケール作成①)(小テスト①)						
	4	イメージスケールについて(イメージスケール作成②)(課題提出)					次回までにイメージスケール完成させる	
	5	アーティフィシャルフラワーを使って色によるイメージ作り						
	6	イメージに合わせたテーブルコーディネート①						
	7	イメージに合わせたテーブルコーディネート②						
	8	イメージに合わせたテーブルコーディネート③						
	9	イメージに合わせたテーブルコーディネート④						
	10	会場装花について(小テスト②)						
	11	アフタヌーンティーについて						
	12	紅茶について						
	13	紅茶の淹れ方、特徴について						
	14	アフタヌーンティー					アフタヌーンティーに必要な物準備	
	15	小テスト③					ノートプリント整理しておく	
評価方法	(1)单元ごとに小テストを6回実施する。(2)イメージスケール作品提出 (3)①～④作品制作発表評価							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト3回		◎					50%
	課題提出			○				10%
	発表・作品			○		◎		40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない							

科目名	イラストレーター フォトショップ						
科目名(英)	Illustrator/Photoshop						
単位数	2 単位		時間数	30時間		担当者	森 秀 樹
実施年度	2021		実施時期	前期		担当者実務経験	広告デザイン事務所経営
対象学科・学年	ブライダルウェディング科(プランナー専攻) 2年						
授業概要	就職現場で求められているパソコンソフトのイラストレーターやフォトショップを使い慣れるようにする。そのために文字やイラスト、写真を使ったグラフィック的な練習作品づくりを複数回行い、最終課題では与えられたテーマに沿ったイベント案内チラシの制作を行う。						
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			パソコンのソフト(イラストレーターとフォトショップ)を使い。簡単なデザイン物が作れる。	
		○				伝える相手を思いやり、それを形(デザイン)に反映させることができる。	
				○		期限までに制作し、確実に提出ができる。(余力があれば、複数案提出する)	
テキスト・教材 参考図書	・なし。その都度必要に応じて、データやコピー物を配布する。						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	授業の説明。使用ソフト(イラレ、フォトショ)の説明。					・教科書を使用しないため、各自でメモをとること。
	2	イラレ①-文字を中心として、自己紹介ページを作る。1/2					・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習をしておくこと。
	3	イラレ②-文字を中心として、自己紹介ページを作る。2/2→提出					・提出時間を守ること。
	4	イラレ③-簡単に描ける図形の取扱い。選択、拡大縮小、彩色等。1/3					・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習をしておくこと。
	5	イラレ④-簡単に描ける図形の取扱い。回転、移動、複製等。2/3					〃
	6	イラレ⑤-簡単な図形を作ってデザイン物を作る。3/3 → 提出					・提出時間を守ること。
	7	フォトショ①-写真の初歩的な取扱い。明度、彩度の調整、回転等。					・必要に応じて、各自メモをとること。 メモを読み返して復習をしておくこと。
	8	フォトショ②-写真の初歩的な取扱い。不要物削除、切り抜き写真等。					〃
	9	(イラレ+フォトショ)を使ってウエルカムボードをデザインする。1/3					・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習をしておくこと。
	10	(イラレ+フォトショ)を使ってウエルカムボードをデザインする。2/3					〃
	11	(イラレ+フォトショ)を使ってウエルカムボードをデザインする。3/3 → 提出					・提出データ数及び提出時間を守ること。
	12	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。1/4 (最終課題)					・日頃から、紙媒体に興味を持っておくこと。
	13	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。2/4					・これまでのメモを読み返して復習をしておくこと。
	14	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。3/4					〃
15	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。4/4 → 提出					・提出データ数及び提出時間を守ること。	
評価方法	(1)小作品づくりを複数回行う。 (2)最終課題作品制作---これまでの授業を通して学んだスキルを活かし 与えられたテーマに沿ったイベント案内チラシを制作する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作品制作		○	○	◎	◎	50%
	最終作品		○	○	◎	◎	50%
						※その他は課題の提出数や状況のこと。	
履修上の注意	全ての課題作品の提出がなされない場合は評価の採点を行わないので、必ず全て提出すること。 (企業研修や学校が認めた理由があり提出ができない場合は届け出を確認した上で評価を考慮する。)						